
全学共通教養教育科目

外国語教育科目 初修外国語

(B群Ⅰ類～Ⅲ類)

履修上の注意

○B群Ⅰ類(英語)の8単位以上には、以下の科目を必ず含んでいなければならない。

- ・コミュニケーション・イングリッシュ1・2
- ・アナリティカル・リーディング1・2
- ・イングリッシュ・セミナー1・2 (またはイングリッシュ・セミナー3)
- ・イングリッシュ・ワークショップ1・2 (またはイングリッシュ・ワークショップ3)

○B群Ⅱ類(ドイツ語またはフランス語)の4単位以上には、ドイツ語、フランス語のいずれかを選択し、入門Ⅰ・ⅡまたはインテンシヴⅠ・Ⅱを必ず含んでいなければならない。

○外国人留学生が日本語・日本文化教育科目の「日本語1(読解AVI)～(文法IX)」、「日本語2(読解AVI)～(文法IX)」、「ビジネス日本語C, D」の科目を登録履修した場合はB群Ⅱ類に算入し、4単位以上履修した場合はドイツ語またはフランス語入門Ⅰ・Ⅱを履修したものとみなす。

※帰国生等、既に一定の語学能力を有していると認められる者については、この限りではない。
卒業要件の詳細については教務センター(生命医科学部)窓口で確認すること。

外国語教育科目登録に関する注意点

会場での登録手続には学生証が必要となる。常に携帯すること。

【外国語教育科目におけるグレード制について】

- ①英語以外の外国語について、「入門Ⅰ」、「入門Ⅱ」などの科目名の『ローマ数字』はグレードを表す。これは、「Ⅰに合格しなければⅡにすすめない」という意味である。
- ②「応用1」、「応用2」などの科目名の算用数字はグレードを表すものではない。つまり、春学期・秋学期セットで登録した場合に、春学期の応用1、応用2が不合格でも、秋学期に応用3、応用4を履修できる。

【外国語登録変更期間について】

春に登録した秋学期の外国語教育科目については、秋学期の講義開始前に行われる外国語登録変更期間に変更できる（ただし、一部例外科目がある）。

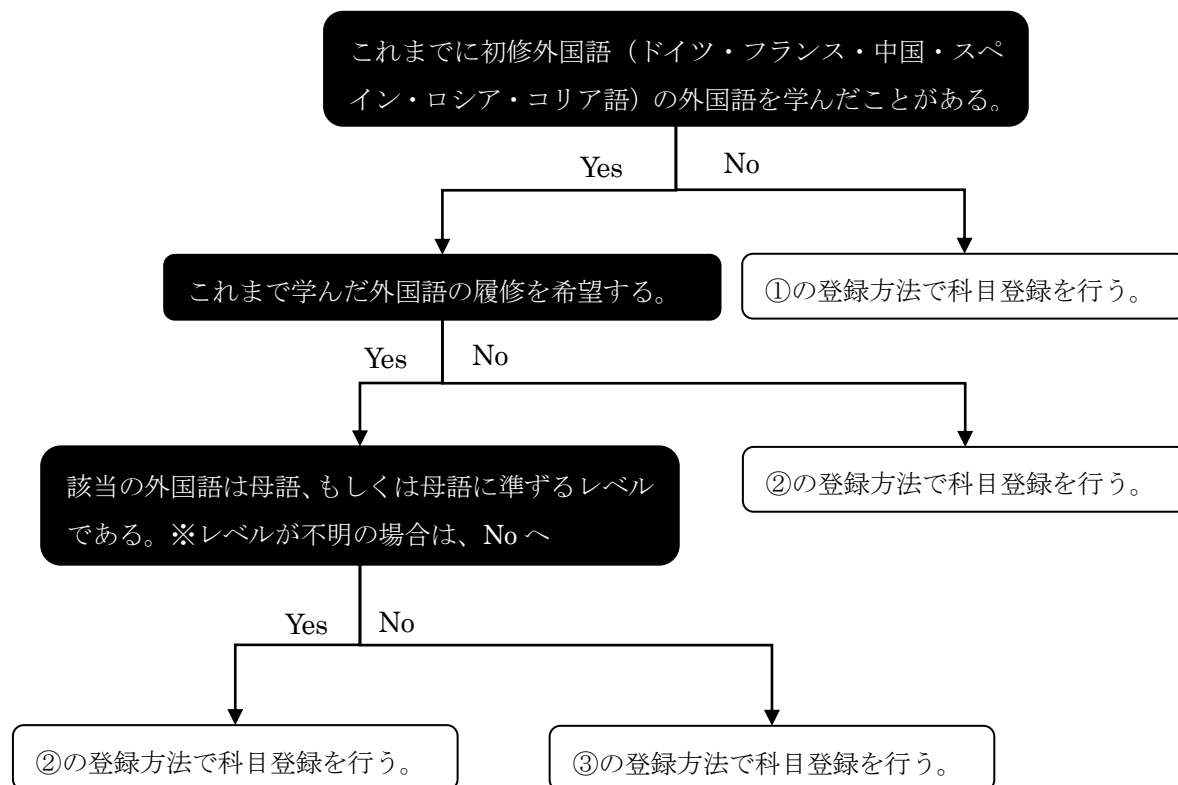
1年次生

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語 各入門Ⅰ・Ⅱ

＜京田辺校地：各2単位＞

1. 登録に関する注意点

- (1)「入門Ⅰ・Ⅱ」のローマ数字は、グレードを表す。これは、「Ⅰに合格しなければⅡに進めない」という意味である。それぞれ、週2回の授業を行う。
- (2)同一外国語の「入門Ⅰ・Ⅱ」と「インテンシヴⅠ・Ⅱ」の同時登録はできない。
- (3)同一外国語の「入門Ⅰ・Ⅱ」と「インテンシヴⅠ・Ⅱ」の両方に登録希望申請し、「インテンシヴⅠ・Ⅱ」に当選した場合、「入門Ⅰ・Ⅱ」は落選する。
- (4)「入門Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得すると、同一外国語の「インテンシヴⅠ・Ⅱ」を登録することができない。ただし、「入門Ⅰ」の単位修得後、「インテンシヴⅡ」にコース変更することはできる。詳細は、春学期成績交付時に配付される秋学期登録要領を確認すること。
- (5)生命医科学部の学生は、ドイツ語かフランス語の中から選択すること。
- (6)「入門Ⅰ」（春学期）・「入門Ⅱ」（秋学期）セットで登録される。
- (7)1次募集は、希望受付・決定者発表とも、学修支援システムDUETにて行う。
希望する外国語を必ず第5希望まで選択し、申請すること。なお、学修支援システムDUET上では「英語以外の外国語科目」最上段に、全ての語部をまとめて「ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシア・コリア語入門」と表示されている。「ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ」など、各外国語ごとには表示されていないため、申請の際には十分注意すること。また、決定者発表の際は、当選した外国語の種類だけでなく、クラス番号も確認すること。
- (8)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。
- (9)初修外国語の言語の選択については、以下のフローに従って行い、指定された登録方法で手続きを行うこと。登録方法については、2.登録日程・登録方法を確認すること。ただし、外国人留学生で日本語の登録を希望する場合は、所属学部の履修要項・登録要領、または「日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」で科目の取り扱い、及び登録方法を確認の上、手続きを行うこと。



2. 登録日程・登録方法

- ①学修支援システム DUET で初修外国語の入門Ⅰ・Ⅱの登録申請を行う。
- ②学修支援システム DUET でこれまで学んでいない外国語の入門Ⅰ・Ⅱの登録申請を行う。
- ③4月2日（金）の今出川校地／京田辺校地にて実施する質問受付、もしくは4月5日（月）の初修外国語科目登録認定に必ず参加し、教員の面談を受けること。

3. 春学期開講「入門Ⅰ」のクラス・担当者（各クラス定員：45名程度）

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

4. 秋学期開講「入門Ⅱ」のクラス・担当者について

「入門Ⅰ・Ⅱ」はセット登録のため、春の登録段階で秋学期の「入門Ⅱ」も登録される。後日ダウンロードできる「登録科目確認表」では、「入門Ⅱ」は800番台の仮クラスに登録され、担当者欄は未定となっている。

～秋学期開講前の「入門Ⅱ」登録手続について～

春学期「入門Ⅰ」の合格によって、秋学期開講前の登録手続が異なる。

(1)合格の場合

大学が「入門Ⅱ」を一括登録するので、手続は不要。成績通知日以降、学修支援システム DUET 「登録科目一覧」で、秋学期「入門Ⅱ」のクラス・担当者を確認すること。春学期「入門Ⅰ」のクラス・担当者とは異なる場合があるので、注意すること。

※春学期「入門Ⅰ」に合格し、秋学期から「インテンシブⅡ」への変更を希望する者は、秋学期登録要領を参照の上、学修支援システム DUET より手続きすること。

(2)不合格の場合

9月下旬に、秋学期「入門Ⅰ」の先行登録手続が必要となる。詳細は秋学期登録要領を参照すること。なお、春に登録した秋学期「入門Ⅱ」は、大学が一括して登録を削除する。

2年次生以上

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語(2012年度生以前:ハングル) 各入門Ⅰ・Ⅱ

<京田辺校地：各2単位>

1. 登録に関する注意点

- (1)同一外国語の「入門Ⅰ・Ⅱ」と「インテンシヴⅠ・Ⅱ」は、同時登録することができない。
- (2)「インテンシヴⅠ・Ⅱ」の単位を修得済みの者は、同一外国語の「入門Ⅰ・Ⅱ」を登録することができない。ただし、「インテンシヴⅠ」の単位修得後、「入門Ⅱ」にコース変更することはできる。詳細は、秋学期登録要領を確認すること。
- (3)1～3次募集は、希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システム DUET にて行う。2013年度以前生のため本システムを利用できない場合、各募集期間中の窓口開室時間に京田辺キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口）に電話で申し出ること。
- (4)春学期「入門Ⅰ」と秋学期「入門Ⅱ」はセット登録ではないので、それぞれの科目について手続きを行うこと。その際、春学期「入門Ⅰ」と秋学期「入門Ⅱ」のクラスが同一である必要はない。
- (5)「入門Ⅰ」で2つ以上の外国語に登録希望申請した場合、各外国語で抽選が行われるため複数当選の可能性はある。当選したすべての外国語に登録することになるので、申請時に十分注意すること。
- (6)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。

2. 登録日程

「外国語教育科目 両校地 WEB 先行登録スケジュール」を確認すること。

3. クラス・担当者（各クラス定員：45名程度）

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

※1年次生対象の「入門Ⅰ」の今出川校地開講クラスの登録を希望する者は、4月6日（火）10:00～11:30、12:30～17:00に京田辺キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口：0774-65-7517）に電話で申し出ること。

～秋学期開講前の登録手続について～

(1)春学期「入門Ⅱ」を登録した者

①合格の場合

9月下旬に、秋学期「応用」の先行登録手続を行うことができる。

または、2018年度以前生で春の先行登録時に秋学期「応用」を登録した場合、春に先行登録した秋学期「応用」をそのまま受講する。

②不合格の場合

9月下旬に、秋学期「入門Ⅱ」の先行登録手続が必要となる。

①・②いずれの場合も、春学期と秋学期の科目は同一の曜日・講時である必要はない。

(2)春学期「入門Ⅰ」を登録した者

①合格の場合

9月下旬に、秋学期「入門Ⅱ」の先行登録手続が必要となる。

または、春に先行登録した秋学期「入門Ⅱ」をそのまま受講する。

②不合格の場合

9月下旬に、秋学期「入門Ⅰ」の先行登録手続が必要となる。

春学期と秋学期の「入門Ⅰ」は同一の曜日・講時である必要はない。

なお、春に先行登録した秋学期「入門Ⅱ」は、大学が一括して登録を削除する。

*** (1) (2) 共に、詳細は秋学期登録要領を参照すること。**

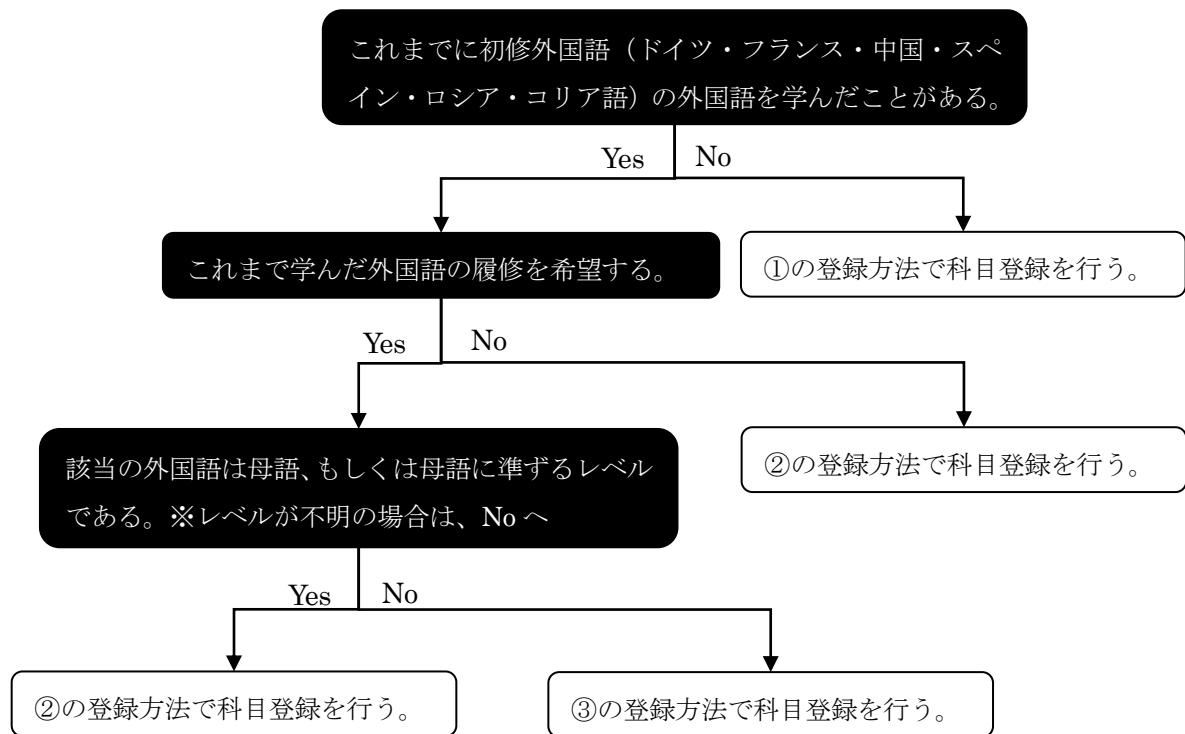
全年次生

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語(2012年度生以前:ハンゲル) 各インテンシヴⅠ・Ⅱ

<京田辺校地：各3単位>

1. 登録に関する注意点

- (1)「インテンシヴⅠ・Ⅱ」は、週3回の授業を行う。生命医科学部の学生は、ドイツ語かフランス語の中から選択すること。
- (2)同一外国語の「インテンシヴⅠ・Ⅱ」と「入門Ⅰ・Ⅱ」の同時登録はできない。
- (3)1年次生について、同一外国語の「入門Ⅰ・Ⅱ」と「インテンシヴⅠ・Ⅱ」の両方に登録希望申請し、「インテンシヴⅠ・Ⅱ」に当選した場合、「入門Ⅰ・Ⅱ」は落選する。
- (4)「入門Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得すると、同一外国語の「インテンシヴⅠ・Ⅱ」を登録することができない。ただし、「入門Ⅰ」の単位修得後、「インテンシヴⅡ」にコース変更することはできる。手続きに関しては、秋学期登録要領を確認すること。
- (5)「インテンシヴⅠ」(春学期)・「インテンシヴⅡ」(秋学期)セットで登録される。
- (6)1次募集は、希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システム DUET にて行う。2013年度以前生のため本システムを利用できない場合、各募集期間中の窓口開室時間に京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)まで申し出ること。
- (7)必修科目等との時間割重複のため、やむを得ず春・秋別クラスの登録を希望する者は、4月6日(火)の10:00~11:30に京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口:0774-65-7517)まで電話で申し出ること。
- (8)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。
- (9)「インテンシヴⅡ」のみの登録を希望する場合は、秋学期に登録手続きをすること。詳細は秋学期登録要領にて確認すること。
- (10)「インテンシヴⅠ・Ⅱ」を2つ以上の外国語を登録希望申請した場合、各外国語で抽選が行われるため複数当選の可能性がある。当選したすべての外国語を登録することになるため、十分注意すること。
- (11)初修外国語の言語の選択については、次のフローに従って行い、指定された登録方法で手続きを行うこと。登録方法については、2.登録日程・登録方法を確認すること。ただし、外国人留学生で日本語の登録を希望する場合は、所属学部の履修要項・登録要領、または「日本語・日本文化教育科目履修の手引き」で科目の取り扱い、及び登録方法を確認の上、手続きを行うこと。



2. 登録日程・登録方法について

- ①学修支援システム DUET で初修外国語のインテンシヴ I・II の登録申請を行う。
- ②学修支援システム DUET でこれまで学んでいない外国語のインテンシヴ I・II の登録申請を行う。
- ③4月2日（金）の今出川校地／京田辺校地にて実施する質問受付、もしくは4月5日（月）の初修外国語科目登録認定に必ず参加し、教員の面談を受けること。

3. クラス・担当者（各クラス定員：30名）

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。生命医科学部の学生は、ドイツ語かフランス語の中から選択すること。

～秋学期開講前の「インテンシヴII」登録手続について～

春学期「インテンシヴI」の可否によって、秋学期開講前の登録手続が異なる。

(1)合格の場合

登録手続は不要。春に先行登録した秋学期「インテンシヴII」を受講できる。

(2)不合格の場合

9月下旬に「入門I」の先行登録手続が必要となる（秋学期には「インテンシヴI」の再履修クラスは開講しない）。詳細は春学期成績交付時に配付される秋学期登録要領を参照すること。なお、春に登録した秋学期「インテンシヴII」は、大学が一括して登録を削除する。

2年次生

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語 各応用1～4

<京田辺校地：各1単位>

1. 登録に関する注意点

- (1)同一外国語の「応用1～4」と「インテンシヴⅢ・Ⅳ」の同時登録はできない。
- (2)「インテンシヴⅢ・Ⅳ」のどちらか1科目でも単位修得済みの場合、同一外国語の「応用1～4」を原則登録することができない。詳細は後述の「コース変更について」を参照。
- (3)同一外国語の「応用1～4」と「インテンシヴⅢ・Ⅳ」の両方に登録希望申請し、「インテンシヴⅢ・Ⅳ」に当選した場合、「応用1～4」は落選する。
- (4)同一外国語の「入門Ⅱ」または「インテンシヴⅡ」の単位を修得済みであること。
- (5)フランス語について、「応用1・3」と「応用2・4」のいずれかしか申請しない場合は、まず「応用1・3」を履修すること。「応用1」では、「入門Ⅰ・Ⅱ」に引き続き、文法の基礎を学習する。
- (6)「応用1（春学期）・応用3（秋学期）」と「応用2（春学期）・応用4（秋学期）」は、それぞれ**春学期・秋学期セット**で登録される。
- (7)1～3次募集は、希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システムDUETにて行う。
なお、「応用1・3」と「応用2・4」のクラス番号は、同一である必要はない。
- (8)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。また、春学期「応用1・2」の可否に関わらず、春に登録した秋学期「応用3・4」を履修できる。
- (9)春学期「応用1」「応用2」に合格し、秋学期から「インテンシヴⅣ」への変更を希望する者は、後述の「コース変更について」と、春学期成績交付時に配付される秋学期登録要領を参照し、必要な手続きをとること。

2. 登録日程

「外国語教育科目 両校地 WEB 先行登録スケジュール」を確認すること。

※科目によって受付期間が異なるので、注意すること。また、時間割が重複しないよう十分確認して申請すること。

3. クラス・担当者（各クラス定員：45名程度）

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

コース変更について

《インテンスィヴコース → レギュラー（応用）コース》

過学期に「インテンスィヴⅢ・Ⅳ」を登録したことがある者は、原則「応用 1～4」へのコース変更は認めない。

ただし、以下の対象者は、学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参のうえ、登録を希望する応用クラスの開講校地の初修外国語科目登録認定に出席すること。

【対象】①秋学期にインテンスィヴⅣが不合格となった者

②必修・準必修科目と時間割が重複する者(クラス変更によって時間割重複を回避できる場合は、クラス変更をする。)

【手続】教員による時間割・成績確認を経て手続きを行う。

【備考】インテンスィヴⅢと応用を横断して登録する場合は、授業内容の重複を避けるため、登録単位数は5単位とする。
過年度にインテンスィヴⅢが不合格になった者は、学修支援システムDUE Tで登録手続きを行うこと。

《レギュラー（応用）コース → インテンスィヴコース》

レギュラーコース(「応用 1～4」)からインテンスィヴコース(「インテンスィヴⅢまたはⅣ」)への変更を希望する者で、以下の対象者は、学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参のうえ、登録を希望するインテンスィヴの開講校地の初修外国語科目登録認定に出席すること。

【対象】応用 1～4の中から2科目単位修得済み

※応用 1科目のみ、もしくは応用 3科目以上単位修得済みの場合はコース変更不可

【手続】「インテンスィヴⅢまたはインテンスィヴⅣ」のどちらを登録するかは、「応用 1～4」の既修状況を見て教員が判断する。
(教員の判断により、コース変更できない場合もある。)

【備考】応用とインテンスィヴⅢまたはインテンスィヴⅣを横断して登録する場合は、授業内容の重複を避けるため、登録単位数は5単位とする。

3年次生以上

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・ハンゲル 各応用1～4

<京田辺校地：各1単位>

1. 登録に関する注意点

- (1)同一外国語の「応用1～4」と「インテンシヴⅢ・Ⅳ」の同時登録はできない。
- (2)「インテンシヴⅢ・Ⅳ」のどちらか1科目でも単位修得済みの場合、同一外国語の「応用1～4」を原則登録することができない。詳細は後述の「**コース変更について**」を参照。
- (3)同一外国語の「入門Ⅱ」または「インテンシヴⅡ」の単位を修得済みであること。
- (4)フランス語について、はじめて応用を履修する場合は、春学期にまず「応用1」を含めて履修すること（例：「応用1」と「応用2」）。「応用1」では、「入門Ⅰ・Ⅱ」に引き続き、文法の基礎を学習する。
- (5)登録を希望する者は、4月6日（火）の10:00～11:30、12:30～17:00に京田辺キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口：0774-65-7517）に電話で申し出ること。定員に余裕のあるクラスのみ、先着順で受け付ける。各クラスのクラス・担当者・曜講は、京田辺キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口：0774-65-7517）へ確認すること。
- (6)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。
- (7)「応用1～4」のうち2科目の単位を修得した上で、インテンシヴコースへの変更を希望する者は、後述の「**コース変更について**」と、秋学期登録要領を参照し、手続を行うこと。

コース変更について

《インテンシヴコース → レギュラー（応用）コース》

過学期に「インテンシヴⅢ・Ⅳ」を登録したことがある者は、原則「応用1～4」へのコース変更は認めない。

ただし、以下の対象者は、学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参のうえ、登録を希望する応用クラスの開講校地の初修外国語科目登録認定に出席すること。

【対象】①秋学期にインテンシヴⅣが不合格となった者

②必修・準必修科目と時間割が重複する者(クラス変更によって時間割重複を回避できる場合は、クラス変更をする。)

【手続】教員による時間割・成績確認を経て手続きを行う。

【備考】インテンシヴⅢと応用を横断して登録する場合は、授業内容の重複を避けるため、登録単位数は5単位とする。過年度にインテンシヴⅢが不合格になった者は、学修支援システムDUE Tで登録手続きを行うこと。

《レギュラー（応用）コース → インテンシヴコース》

レギュラーコース(「応用1～4」)からインテンシヴコース(「インテンシヴⅢまたはⅣ」)への変更を希望する者で、以下の対象者は、学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参のうえ、登録を希望するインテンシヴの開講校地の初修外国語科目登録認定に出席すること。

【対象】応用1～4の中から2科目単位修得済み

※応用1科目のみ、もしくは応用3科目以上単位修得済みの場合はコース変更不可

【手続】「インテンシヴⅢまたはインテンシヴⅣ」のどちらを登録するかは、「応用1～4」の既修状況を見て教員が判断する。

(教員の判断により、コース変更できない場合もある。)

【備考】応用とインテンシヴⅢまたはインテンシヴⅣを横断して登録する場合は、授業内容の重複を避けるため、登録単位数は5単位とする。

2年次生以上

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語(2012年度生以前:ハングル)

各インテンシヴⅢ・Ⅳ

<京田辺校地:各3単位>

1. 登録に関する注意点

- (1)「インテンシヴⅢ・Ⅳ」はセットで登録しなければならない。
応用へのコース変更(例:春学期:インテンシヴⅢ→秋学期:応用3・4)は認めないため、登録希望申請する際は注意すること。詳細は後述の「コース変更について」を参照。
- (2)「インテンシヴⅢ・Ⅳ」は、週3回の授業を行う。
- (3)同一外国語の「インテンシヴⅢ・Ⅳ」と「応用1~4」の同時登録はできない。
- (4)「インテンシヴⅠ・Ⅱ」の単位を修得済みの者は、「インテンシヴⅢ・Ⅳ」を登録することが望ましい。
- (5)2年次生について、同一外国語の「インテンシヴⅢ・Ⅳ」と「応用1~4」の両方に登録希望申請し、「インテンシヴⅢ・Ⅳ」に当選した場合、「応用1~4」は落選する。
- (6)同一外国語の「入門Ⅱ」または「インテンシヴⅡ」の単位を修得済みであること。
- (7)「インテンシヴⅢ・Ⅳ」は、「インテンシヴⅢ」(春学期)・「インテンシヴⅣ」(秋学期)セットで登録される。
- (8)1~3次募集は、希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システムDUETにて行う。2013年度以前生のため本システムを利用できない場合、各募集期間中の窓口開室時間に京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)に電話で申し出ること。
- (9)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。

2. 登録日程

「外国語教育科目 両校地 WEB 先行登録スケジュール」を確認すること。

※科目によって受付期間が異なるので、注意すること。また、時間割が重複しないよう十分確認して申請すること。

3. クラス・担当者(各クラス定員:30名)

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容については、シラバスを参照すること。

～秋学期開講前の「インテンシヴⅣ」登録手續について～

春学期「インテンシヴⅢ」の可否によって、秋学期開講前の登録手續が異なる。

(1)合格の場合

登録手續は不要。春に先行登録した秋学期「インテンシヴⅣ」を受講できる。

(2)不合格の場合

春に登録した秋学期「インテンシヴⅣ」は、大学が一括して登録を削除する。秋学期には「インテンシヴⅢ」の再履修クラスは開講しないため、引き続き当該外国語の履修を希望する場合は、9月下旬に「応用」の先行登録手續をとること。

コース変更について

《インテンシヴコース → レギュラー（応用）コース》

過学期に「インテンシヴⅢ・Ⅳ」に登録したことがある者は、原則「応用 1～4（←経済学部 2011 年度以前生は応用 1・2）」へのコース変更は認めない。

ただし、以下の対象者は、学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参のうえ、登録を希望する応用クラスの開講校地の初修外国語科目登録認定に出席すること。

【対象】①秋学期にインテンシヴⅣが不合格となった者

②必修・準必修科目と時間割が重複する者(クラス変更によって時間割重複を回避できる場合は、クラス変更をする。)

【手續】教員による時間割・成績確認を経て手續きを行う。

【備考】インテンシヴⅢと応用を横断して登録する場合は、授業内容の重複を避けるため、登録単位数は 5 単位とする。過年度にインテンシヴⅢが不合格になった者は、学修支援システムDUE Tで登録手續きを行うこと。

《レギュラー（応用）コース → インテンシヴコース》

レギュラーコース(「応用 1～4(←経済学部 2011 年度以前生は応用 1・2)」)からインテンシヴコース(「インテンシヴⅢまたはⅣ」)への変更を希望する者で、以下の対象者は、学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参のうえ、登録を希望するインテンシヴの開講校地の初修外国語科目登録認定に出席すること。

【対象】 応用 1～4(←経済学部 2011 年度以前生は応用 1・2)の中から 2 科目単位修得済み

※応用 1 科目のみ、もしくは応用 3 科目以上単位修得済みの場合はコース変更不可

【手續】「インテンシヴⅢまたはインテンシヴⅣ」のどちらを登録するかは、「応用 1～4(←経済学部 2011 年度以前生は応用 1・2)」の既修状況を見て教員が判断する。

(教員の判断により、コース変更できない場合もある。)

【備考】 応用とインテンシヴⅢまたはインテンシヴⅣを横断して登録する場合は、授業内容の重複を避けるため、登録単位数は 5 単位とする。

3年次生以上

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ハングル 各インテンシヴV・VI

＜京田辺・今出川校地：各2単位＞

1. 登録資格

(1)「応用1～4」または「インテンシヴIV」の単位を修得済みであること。

(2)登録資格を有しない場合は、次の認定を受けたうえで登録を認める。

4月2日（金）の質問受付もしくは4月5日（月）京田辺校地登録相談に出席し教員と面談のうえ、同等の能力を有するとの認定を受けること。「認定」の手続がないと登録は無効となる。学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参すること。ただし、1年次生は学生証と、登録相談時のみ学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表を必ず持参すること。

2. 登録に関する注意点

(1)希望クラスを一般登録すること。「インテンシヴV」（春学期）と「インテンシヴVI」（秋学期）はセットで登録することが望ましい。

(2)「インテンシヴV・VI」は、週2回の授業を行う。

(3)ドイツ語、フランス語、中国語は、京田辺校地・今出川校地の両校地で開講する。それ以外の外国語は、今出川校地のみで開講する。

3. クラス・担当者（各クラス定員：30名程度）

次表のとおりである。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

クラス・担当者表（○印は春学期開講、△印は秋学期開講）

校地	学期	科目	クラス	曜講 1	曜講 2	担当者 1	担当者 2
京田辺	○	ドイツ語インテンシヴ V	1	火 3	木 3	Angela NIEHAUS	Roger WALCH
京田辺	△	ドイツ語インテンシヴ VI	1	火 3	木 3	Angela NIEHAUS	Roger WALCH
京田辺	○	フランス語インテンシヴ V	1	火 4	木 2	Eric FAURE	Julien BOGAERS
京田辺	△	フランス語インテンシヴ VI	1	火 4	木 2	Eric FAURE	Julien BOGAERS
京田辺	○	中国語インテンシヴ V	1	火 2	金 3	久田 麻実子	郭 雲輝
京田辺	△	中国語インテンシヴ VI	1	火 2	金 3	後藤 裕也	甘 琳樺

校地	学期	科目	クラス	曜講 1	曜講 2	担当者 1	担当者 2
今出川	○	ドイツ語インテンシヴ V	51	月 4	木 2	清水 穰	TOBIAS SCHICKHAUS
今出川	△	ドイツ語インテンシヴ VI	51	月 4	木 2	清水 穰	TOBIAS SCHICKHAUS
今出川	○	フランス語インテンシヴ V	51	月 2	木 5	Olivier ROUAUD	Olivier ROUAUD
今出川	△	フランス語インテンシヴ VI	51	月 2	木 5	Olivier ROUAUD	Olivier ROUAUD
今出川	○	フランス語インテンシヴ V	52	水 3	金 3	Aurelie HEUSCHLING	Eric FAURE
今出川	△	フランス語インテンシヴ VI	52	水 3	金 3	Aurelie HEUSCHLING	Eric FAURE
今出川	○	中国語インテンシヴ V	51	月 4	水 4	副島 一郎	李 燦
今出川	△	中国語インテンシヴ VI	51	月 4	水 4	副島 一郎	李 燦
今出川	○	中国語インテンシヴ V	52	火 4	水 3	王 宜瑗	井上 薫
今出川	△	中国語インテンシヴ VI	52	火 4	水 3	王 宜瑗	井上 薫
今出川	○	スペイン語インテンシヴ V	51	火 1	金 4	宮多良 デイスネル	Horacio GOMEZ-DANTES
今出川	△	スペイン語インテンシヴ VI	51	火 1	金 4	宮多良 デイスネル	Horacio GOMEZ-DANTES
今出川	○	コリア語インテンシヴ V	51	火 2	木 3	金 鍾徳	金 鍾徳
今出川	△	コリア語インテンシヴ VI	51	火 2	木 3	金 鍾徳	金 鍾徳

～秋学期開講前の「インテンシヴVI」登録手続について～

春学期「インテンシヴV」の可否によって、秋学期開講前の登録手続が異なる。

(1)合格の場合

春に一般登録した秋学期「インテンシヴVI」を受講できる。未登録の者は、一般登録すること。

(2)不合格の場合

春に登録した秋学期「インテンシヴVI」は、大学が一括して登録を削除する（秋学期には「インテンシヴV」の再履修クラスは開講しない）。

4年次生

フランス語・中国語 各インテンシヴⅦ・Ⅷ

<今出川校地：各2単位>

1. 登録資格

- (1) 「インテンシヴⅥ」の単位を修得済みであること。
- (2) 登録資格を有しない場合は、次の認定を受けたうえで登録を認める。

4月2日（金）の質問受付もしくは4月5日（月）の初修外国語科目登録認定に出席し教員と面談のうえ、同等の能力を有するとの認定を受けること。「認定」の手続がないと登録は無効となる。学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参すること。ただし、1年次生は学生証と、登録相談時のみ学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表を必ず持参すること。

2. 登録に関する注意点

- (1) 希望クラスを一般登録すること。「インテンシヴⅦ」（春学期）と「インテンシヴⅧ」（秋学期）はセットで登録することが望ましい。
- (2) 「インテンシヴⅦ・Ⅷ」は週2回の授業を行う。

3. クラス・担当者（各クラス定員：30名程度）

次表のとおりである。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

クラス・担当者表（○印は春学期開講、△印は秋学期開講）

校地	学期	科目	クラス	曜講1	曜講2	担当者1	担当者2
今出川	○	フランス語インテンシヴⅦ	51	火1	木1	亀谷 百合佳	亀谷 百合佳
今出川	△	フランス語インテンシヴⅧ	51	火1	木1	亀谷 百合佳	亀谷 百合佳
今出川	○	中国語インテンシヴⅦ	51	月3	金4	王 嵐	黄 明月
今出川	△	中国語インテンシヴⅧ	51	月3	金4	王 嵐	黄 明月

～秋学期開講前の「インテンシヴⅧ」登録手続について～

春学期「インテンシヴⅦ」の合否によって、秋学期開講前の登録手続が異なる。

(1) 合格の場合

春に一般登録した秋学期「インテンシヴⅧ」を受講できる。未登録の者は、一般登録すること。

(2) 不合格の場合

春に登録した秋学期「インテンシヴⅧ」は、大学が一括して登録を削除する（秋学期には「インテンシヴⅦ」の再履修クラスは開講しない）。

全年次生

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語(2012年度生以前:ハングル) 各 会話1・2

〈京田辺・今出川校地:各1単位〉

1. 登録資格

(1) 会話科目の中には、科目の性質上、登録資格を定めているものがある。クラス・担当者表の登録資格欄で確認すること。

(2) 登録資格を有しない場合は、次の認定を受けたいうえで登録を認める。

4月2日(金)の質問受付もしくは4月5日(月)京田辺校地初修外国語科目登録認定のいずれかに出席し、教員と面談のうえ、同等の能力を有するとの認定を受けること。「認定」の手続がないと登録は無効となる。学生証と学修支援システムDUETより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参すること。ただし、1年次生は学生証と、登録相談時のみ学修支援システムDUETより印刷した時間割表を必ず持参すること。

2. 登録に関する注意点

(1) 「中国語会話初級1・2」は、1年次生は登録できない。

(2) 「コリア語入門Ⅰ・Ⅱ」または「コリア語インテンシヴⅠ・Ⅱ」の単位を修得した学生は、「コリア語会話中級1・2」を履修することが望ましい。

(3) 会話初級はWEB先行登録、会話中・上級は一般登録をすること。

〈会話初級について〉

①1次募集は、希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システムDUETにて行う。

②クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。

③登録日程

「外国語教育科目 両校地 WEB 先行登録スケジュール」を確認すること。

④クラス・担当者(各クラス定員:30名)

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

○会話中・上級

①希望クラスを一般登録すること。

②クラス・担当者(各クラス定員:30名程度)

募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

会話中級 1・2 クラス・担当者表(○印は春学期開講、△印は秋学期開講)

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者	登録資格
京田辺	○	ドイツ語会話中級 1	1	木 3	照井 ザビーネ	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	△	ドイツ語会話中級 2	1	木 3	照井 ザビーネ	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	○	フランス語会話中級 1	1	月 5	Alain COLLOMBON	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	△	フランス語会話中級 2	1	月 5	Alain COLLOMBON	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	○	中国語会話中級 1	1	月 4	李 玲	インテシヴⅣまたは応用 1~4 またはインテシヴⅢ と応用 2 科目を履修済み
京田辺	△	中国語会話中級 2	1	月 4	李 玲	インテシヴⅣまたは応用 1~4 またはインテシヴⅢ と応用 2 科目を履修済み
京田辺	○	スペイン語会話中級 1	1	木 2	青木 アンヘリカ	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	△	スペイン語会話中級 2	1	木 2	青木 アンヘリカ	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	○	ロシア語会話中級 1	1	水 2	Alexandre FEDOROV	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	△	ロシア語会話中級 2	1	水 2	Alexandre FEDOROV	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	○	韓国語会話中級 1	1	木 4	姜 鍾植	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
京田辺	△	韓国語会話中級 2	1	木 4	姜 鍾植	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者	登録資格
今出川	○	ドイツ語会話中級1	51	水3	照井 ザビーネ	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	ドイツ語会話中級1	52	木3	Stephanie Anna Kopp	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	ドイツ語会話中級2	51	水3	照井 ザビーネ	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	ドイツ語会話中級2	52	木3	Stephanie Anna Kopp	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	フランス語会話中級1	51	水5	Richard PIORUNSKI	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	フランス語会話中級1	52	土2	Monique LE LARDIC	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	フランス語会話中級2	51	水5	Richard PIORUNSKI	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	フランス語会話中級2	52	土2	Monique LE LARDIC	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	中国語会話中級1	51	金4	郭 斐映	インテシヴⅣまたは応用1～4またはインテシヴⅢと 応用2科目を履修済み
今出川	△	中国語会話中級2	51	金4	郭 斐映	インテシヴⅣまたは応用1～4またはインテシヴⅢと 応用2科目を履修済み
今出川	○	スペイン語会話中級1	51	水1	JORGE ALVAREZ BARBERO	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	スペイン語会話中級1	52	土2	EVA MARIA GARCIA DE CELIS	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	スペイン語会話中級2	51	水1	JORGE ALVAREZ BARBERO	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	スペイン語会話中級2	52	土2	EVA MARIA GARCIA DE CELIS	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	ロシア語会話中級1	51	月5	Anna Barinova	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	ロシア語会話中級2	51	月5	Anna Barinova	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	ロシア語会話中級1	51	月3	金 賢善	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	ロシア語会話中級1	52	水3	蔡 濟英	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	○	ロシア語会話中級1	53	土3	梁 熙貞	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	ロシア語会話中級2	51	月3	金 賢善	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	ロシア語会話中級2	52	水3	蔡 濟英	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み
今出川	△	ロシア語会話中級2	53	土3	梁 熙貞	入門ⅡまたはインテシヴⅡを履修済み

会話上級1・2 クラス・担当者表(○印は春学期開講、△印は秋学期開講)

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者	登録資格
京田辺	○	フランス語会話上級1	1	火5	Eric FAURE	インテシヴⅣまたは応用1～4またはインテシヴⅢと 応用2科目を履修済み
京田辺	△	フランス語会話上級2	1	火5	Eric FAURE	インテシヴⅣまたは応用1～4またはインテシヴⅢと 応用2科目を履修済み

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者	登録資格
今出川	○	ドイツ語会話上級 1	51	木 4	Tamara SCHNEIDER	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	△	ドイツ語会話上級 2	51	木 4	Tamara SCHNEIDER	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	○	フランス語会話上級 1	51	月 5	Olivier ROUAUD	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	△	フランス語会話上級 2	51	月 5	Olivier ROUAUD	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	○	中国語会話上級 1	51	水 3	李 燦	会話中級 1・2 またはイテシカ [®] V・VIを履修済み
今出川	△	中国語会話上級 2	51	水 3	李 燦	会話中級 1・2 またはイテシカ [®] V・VIを履修済み
今出川	○	スペイン語会話上級 1	51	月 5	JORGE LUIS BLANCO	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	△	スペイン語会話上級 2	51	月 5	JORGE LUIS BLANCO	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	○	ロシア語会話上級 1	51	月 4	Anna Barinova	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	△	ロシア語会話上級 2	51	月 4	Anna Barinova	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	○	韓国語会話上級 1	51	木 3	李 鎮榮	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み
今出川	△	韓国語会話上級 2	51	木 3	李 鎮榮	イテシカ [®] IVまたは応用 1~4 またはイテシカ [®] IIIと応用 2 科目を履修済み

3年次生以上**ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語 各 文化事情1・2、表現法1・2**

<今出川校地・京田辺校地（ドイツ語のみ）：各2単位>

言語文化原典演習(ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語)1・2

<今出川校地：各2単位>

1. 登録に関する注意点

(1)当該外国語の「応用 1～4」または「インテンシヴⅢ・Ⅳ」の単位を修得済み、もしくは同等の学力を持っていることを前提とする。

(2)希望するクラスを一般登録すること。

2. クラス・担当者（各クラス定員：30名程度）

次表のとおりである。各クラスの授業内容については、シラバスを参照すること。

クラス・担当者表（○印は春学期開講、△印は秋学期開講）

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者
京田辺	○	ドイツ語文化事情 1	1	月 4	薦田 奈美
京田辺	△	ドイツ語文化事情 2	1	月 4	薦田 奈美
京田辺	○	ドイツ語表現法 1	1	水 2	三ツ木 道夫
京田辺	△	ドイツ語表現法 2	1	水 2	三ツ木 道夫

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者
今出川	○	ﾄﾞｲｯｼﾞ語文化事情 1	51	木 3	清水 穰
今出川	△	ﾄﾞｲｯｼﾞ語文化事情 2	51	木 3	清水 穰
今出川	○	ﾌﾗﾝｽ語文化事情 1	51	木 5	藤田 義孝
今出川	△	ﾌﾗﾝｽ語文化事情 2	51	木 5	亀谷 百合佳
今出川	○	中国語文化事情 1	51	水 3	山本 恭子
今出川	△	中国語文化事情 2	51	水 3	山本 恭子
今出川	○	ｽﾊﾟｲﾝ語文化事情 1	51	木 4	JORGE ALVAREZ BARBERO
今出川	△	ｽﾊﾟｲﾝ語文化事情 2	51	木 4	JORGE ALVAREZ BARBERO
今出川	○	ﾛｼﾞｱ語文化事情 1	51	月 3	Irina MELNIKOVA
今出川	△	ﾛｼﾞｱ語文化事情 2	51	月 3	Irina MELNIKOVA
今出川	○	ｺﾘｱ語文化事情 1	51	火 3	原 佑介
今出川	△	ｺﾘｱ語文化事情 2	51	火 3	原 佑介
今出川	○	ﾄﾞｲｯｼﾞ語表現法 1	51	月 3	高木 繁光
今出川	△	ﾄﾞｲｯｼﾞ語表現法 2	51	月 3	高木 繁光
今出川	○	ﾌﾗﾝｽ語表現法 1	51	火 3	亀谷 百合佳
今出川	△	ﾌﾗﾝｽ語表現法 2	51	火 3	亀谷 百合佳
今出川	○	中国語表現法 1	51	火 5	錢 鷗
今出川	△	中国語表現法 2	51	火 5	錢 鷗
今出川	○	ｽﾊﾟｲﾝ語表現法 1	51	木 4	EVA MARIA GARCIA DE CELIS
今出川	△	ｽﾊﾟｲﾝ語表現法 2	51	木 4	EVA MARIA GARCIA DE CELIS
今出川	○	ﾛｼﾞｱ語表現法 1	51	月 2	Alexandre FEDOROV
今出川	△	ﾛｼﾞｱ語表現法 2	51	月 2	Alexandre FEDOROV
今出川	○	ｺﾘｱ語表現法 1	51	金 4	金 善美
今出川	△	ｺﾘｱ語表現法 2	51	金 4	金 善美
今出川	○	言語文化原典演習(ﾄﾞｲｯｼﾞ語)1	51	火 5	大木 清香
今出川	△	言語文化原典演習(ﾄﾞｲｯｼﾞ語)2	51	火 5	大木 清香
今出川	○	言語文化原典演習(ﾌﾗﾝｽ語)1	51	木 3	宮寄 克裕
今出川	△	言語文化原典演習(ﾌﾗﾝｽ語)2	51	木 3	藤田 義孝
今出川	○	言語文化原典演習(中国語)1	51	月 5	塚田 亮太
今出川	△	言語文化原典演習(中国語)2	51	月 5	塚田 亮太
今出川	○	言語文化原典演習(ｽﾊﾟｲﾝ語)1	51	火 4	平井 うらら
今出川	△	言語文化原典演習(ｽﾊﾟｲﾝ語)2	51	火 4	平井 うらら
今出川	○	言語文化原典演習(ﾛｼﾞｱ語)1	51	水 4	服部 文昭
今出川	△	言語文化原典演習(ﾛｼﾞｱ語)2	51	水 4	服部 文昭
今出川	○	言語文化原典演習(ｺﾘｱ語)1	51	月 3	李 建濟
今出川	△	言語文化原典演習(ｺﾘｱ語)2	51	月 3	李 建濟

3年次生以上

現代地域事情・上級講読

(ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏・スペイン語圏・ロシア語圏・韓国朝鮮語圏)1・2

<今出川校地：各2単位>

1. 登録資格

(1)当該外国語の「応用1～4」のうち2科目以上または「インテンシヴⅢ」の単位を修得済みであること(※応用の場合は全科目、インテンシヴの場合はⅣの単位を修得済みであることが望ましい)。

(2)登録資格を有しない場合は、次の認定を受けたうえで登録を認める。

4月2日(金)の質問受付もしくは4月5日(月)京田辺校地初修外国語科目登録認定のいずれかに出席し、教員と面談のうえ、同等の能力を有するとの認定を受けること。「認定」の手続がないと登録は無効となる。学生証と学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表・成績通知書を必ず持参すること。ただし、1年次生は学生証と、登録相談時のみ学修支援システムDUE Tより印刷した時間割表を必ず持参すること。

2. 登録に関する注意点

希望クラスを一般登録すること。

3. クラス・担当者(各クラス定員：30名程度)

次表のとおりである。各クラスの授業内容については、シラバスを参照すること。

クラス・担当者表(○印は春学期開講、△印は秋学期開講)

校地	学期	科目	クラス	曜講	担当者
今出川	○	現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)1	51	水4	TOBIAS SCHICKHAUS
今出川	△	現代地域事情・上級講読(ドイツ語圏)2	51	水4	TOBIAS SCHICKHAUS
今出川	○	現代地域事情・上級講読(フランス語圏)1	51	火5	中嶋 洋平
今出川	△	現代地域事情・上級講読(フランス語圏)2	51	火5	中嶋 洋平
今出川	○	現代地域事情・上級講読(中国語圏)1	51	水4	井上 薫
今出川	△	現代地域事情・上級講読(中国語圏)2	51	水4	井上 薫
今出川	○	現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)1	51	木3	川田 玲子
今出川	△	現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)2	51	木3	川田 玲子
今出川	○	現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)1	51	火2	前田 恵
今出川	△	現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)2	51	火2	前田 恵
今出川	○	現代地域事情・上級講読(韓国朝鮮語圏)1	51	木2	李 順南
今出川	△	現代地域事情・上級講読(韓国朝鮮語圏)2	51	木2	李 順南

全年次生

サマープログラム・ドイツ語B、フランス語、
中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語

※2021年度のサマープログラムに参加が決定している者は、2021年度春学期科目として、渡航可否の判断を行った後（5～6月頃）大学が一括して登録する。登録時の手続は不要。

1. 授業概要

サマープログラムは、夏期休暇中に現地での集中的語学研修（ドイツ語B：約3週間、フランス語：約4週間、中国語：約3週間、スペイン語：約4週間、ロシア語：約3週間、コリア語：約3週間）に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験をとおして異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

2. 登録に関する注意点

- (1)2021年度のサマープログラムに登録できるのは、2021年1月に実施した選考試験と2月に実施した追加募集選考試験の合格者のみである。2022年度に実施されるプログラムへの参加希望者は次頁4. 募集・選考日程を参照すること。
- (2)サマープログラムは春学期科目だが、春学期末には成績付与されない（春学期成績通知日には成績は「保留」となる）。成績公表は秋学期成績通知日となる。そのため、再修生で9月卒業予定者は、登録することができない。再修生で登録を希望する者は、出願時に生命医科学部事務室に相談すること。
- (3)春学期中に事前授業があるため、該当の曜日講時には他の授業は登録できない。事前授業が実施される校地と別校地において二校地間移動不可となる場合も同様。また、現地研修期間が重複する他の授業も登録することはできない。科目登録により登録エラーが発生した場合は、エラー修正期間（5～6月頃）を設定するので、その際に対応すること。ただし、サマープログラム・初修は、各言語1プログラムの開講であることから、必修科目等の履修により、やむを得ず二校地間移動不可が発生する合格者がいた場合のみ、両校地で事前授業を受講可能とし、両校地を遠隔講義システム等で接続して事前授業を実施する。科目履修状況を全学共通教養教育センター事務室で確認の上、エラー修正期間に該当者へ連絡する。
- (4)今後の世界情勢により渡航不可となることも考えられるため、2021年度については、コロナ禍における特別措置として、オンライン留学の実施について検討している。詳細は、決定次第、合格者へ連絡する。
- (5)複数のサマープログラムを、同一年度に登録することはできない。
- (6)2年次生以上対象科目だが、出願期間は1年次生から設けられている。
- (7)ロシア語は隔年開講のため、開講年度に注意すること。2021年度は、サマープログラム・ドイツ語B、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語（2012年度以前生はハンデル）が実施される。
- (8)2022年度のプログラムについては、2021年12月初旬に国際課HPへ公開予定の募集要項、プログラム紹介の資料を確認すること。募集・選考日程は次頁4. を参照すること。
- (9)登録者（プログラム参加者）は面接等により決定する。

3. クラス・担当者

次表のとおりである。各プログラムの内容は、シラバスを参照すること。

2021年度 春学期開講 クラス・担当者表

学 期	科目	担当者	研修先		定員	最少 催行 人数	事前授業	
							曜講	校地
○	サマープログラム・ドイツ語B	大木 清香	マルティン・ルター大学	ドイツ	約20名	1名	春学期:金6	今出川
○	サマープログラム・フランス語	—	フランシュ＝コンテ大学	フランス	約20名	4名	—	—
○	サマープログラム・中国語	殷 文怡	北京大学	中国語	約20名	6名	春学期:土3・4	今出川
○	サマープログラム・スペイン語	—	ラス・アメリカス大学	メキシコ	約20名	7名	—	—
○	サマープログラム・ロシア語	中野 幸男	ロシア国立サンクトペテルブルク 経済大学	ロシア	約20名	6名	春学期:金6	今出川
○	サマープログラム・韓国語	コ ヨンジン	延世大学	韓国	約20名	1名	春学期:火6	今出川

※フランス語、スペイン語は、最少催行人数に達しなかったため、2021年度は実施しない。

4. 2022年度サマープログラム（初修外国語） 募集・選考日程

(1)募集要項、プログラム紹介資料公開（予定）

日程：2021年12月初旬

場所：国際課 HP

(2)個別相談期間（予定）

日程：2021年12月初旬～12月下旬、2022年1月初旬

場所：両校地

(3)出願期間（予定）

日程：2021年12月初旬～12月下旬、2022年1月初旬

出願方法：Go Global ポートフォリオ

(4)選考試験（予定）

日程：2022年1月中旬～1月下旬

場所：今出川校地

(5)選考結果発表（予定）

日程：2022年1月下旬

発表方法：Go Global ポートフォリオ

*詳細は、各キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口）に問い合わせること。

スプリングプログラム・ ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語C、コリア語

1. 授業概要

スプリングプログラムは、春期休暇中に現地での集中的語学研修（ドイツ語：約3週間、フランス語：約5週間、中国語：約2週間、スペイン語C：約2週間、コリア語：約3週間）に参加し、各外国語の実践能力を養成するとともに、現地での生活体験をとおして異文化に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とします。

2. 登録に関する注意点

- (1) スプリングプログラムは秋学期科目だが、秋学期末には成績付与されない（秋学期成績通知日には成績は「保留」となる）。成績公表は次年度春学期成績通知日となる。そのため、4年次生以上は登録することができない。4年次生以上で登録を希望する者は、出願時に所属学部事務室に相談すること。また、次年度に卒業論文の登録を希望する者は、スプリングプログラムの単位を含めずに進級条件を満たすようにすること。
- (2) 秋学期中に事前授業があるため、該当の曜日講時には他の授業は登録できない。事前授業が実施される校地と別校地において二校地間移動不可となる場合も同様。また、現地研修期間が重複する他の授業も登録することはできない。
- (3) 複数のスプリングプログラムを、同一年度に登録することはできない。
- (4) 2021年度のプログラムについては、2021年6月中旬に国際課HPへ公開予定の募集要項、プログラム紹介の資料を確認すること。募集・選考日程は次頁を参照すること。
- (5) 登録者（プログラム参加者）は面接等により決定する。
- (6) スプリングプログラムに参加が決定した者は、秋学期科目として、大学が一括して登録する。登録時の手続は不要。一括登録により登録エラーが生じる場合がある。エラーの修正方法については、選考結果発表の掲示で確認すること。
- (7) 今後の世界情勢により渡航不可となることも考えられるため、2021年度についてはコロナ禍における特別措置として、オンライン留学の実施について検討している。詳細は、6月中旬に国際課HPへ公開予定の募集要項を確認すること。

3. クラス・担当者

2021年度の各プログラムの内容は、国際課HPで公開する募集要項を参照すること。なお、2021年度に実施予定のプログラム研修先は以下の通りである。

- ・ドイツ語：フライブルク大学
- ・フランス語：CAVILAM（クレルモン・フェラン大学監修）
- ・中国語：華東師範大学
- ・スペイン語B：サラマンカ大学
- ・コリア語：慶熙大学

4. 2021年度スプリングプログラム 募集・選考日程

(1)募集要項、プログラム紹介資料公開（予定）

日程：2021年6月中旬

場所：国際課 HP

(2)個別相談期間（予定）

日程：2021年6月中旬～6月下旬

場所：両校地

(3)出願期間（予定）

日程：2021年6月中旬～6月下旬

出願方法：Go Global ポートフォリオ

(4)選考試験（予定）

日程：2021年9月中旬～9月下旬

場所：今出川校地

(5)選考結果発表（予定）

日程：2021年9月下旬

発表方法：Go Global ポートフォリオ

*詳細は、各キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口）に問い合わせること。

2 年次生以上

セメスタープログラム・ドイツ語 I・II

<今出川校地：各 4 単位>

1. 授業概要

出発前の事前授業と現地での集中的語学研修（1 セメスター：約 4 ヶ月）を通して、外国語の実践能力と異文化理解の向上を目指す。また、環境政策に重点をおいたフィールドトリップも実施する。事前授業は今出川校地、現地研修は同志社大学テュービンゲン EU キャンパス（以降、EU キャンパスという）で実施する。また、本科目は EU キャンパスで開講する特色を生かした教育プログラムである「ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム」の科目に含まれている。「ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム」の詳細は次項参照。

2. ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム

ドイツのテュービンゲン大学に開設した EU キャンパスの教育プログラムとして 2019 年度にスタートした。EU キャンパスの特色を生かし、「セメスタープログラム・ドイツ語 I、II」に加えて、全学共通教養教育科目である「Intercultural Studies」「EU キャンパス特別講義」をセットで登録し、ドイツ・ヨーロッパでの学びを深化させる科目構成になっている。「セメスタープログラム・ドイツ語 I、II」以外の科目の概要は以下の通り。

「Intercultural Studies」

テュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目で、日本とドイツ、アジアと欧州の共通点や相違点等の理解を深め、多様な価値観に触れ、受講生自らの世界観を磨くことを目的としている。

「EU キャンパス特別講義」

ドイツ及びヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とし、その深層にある社会の特質を理解するとともに、日本が直面する課題の解決について思考することを目的とし、テーマごとにクラスを展開する。

3. 登録に関する注意点

(1)2022 年度のプログラムへの参加希望者は、次頁 5. 募集・選考日程を参照すること。

(2)1 年次対象科目、2 年次対象科目のいずれかを履修済（登録中も可）のレベルを目安とする。

※1 年次対象科目は（ドイツ語入門 I、II、ドイツ語インテンシヴ I、II）

2 年次対象科目は（ドイツ語応用 1、2、3、4、ドイツ語インテンシヴ III、IV）

なお、本学の初修外国語としてドイツ語を選択していないドイツ語既習者の場合も、選考試験の結果次第で登録が認められる。

(3)プログラム参加者の春学期の履修登録科目は「セメスタープログラム・ドイツ語 I、II」、「Intercultural Studies」、「EU キャンパス特別講義」のみとなり、原則、他の科目の履修登録はできない。

(4)2 年次生以上対象の科目だが、出願期間は 1 年次生から設けられている。なお、留学開始時の学年によっては、就職活動の時期と重複する可能性もあるため、十分に考慮したうえで出願すること。

(5)この科目名のローマ数字はグレードを表すものではない。

(6)登録者（プログラム参加者）は選考試験（ドイツ語の筆記試験、面接試験）等により決定する。

(7) 渡航期間は3月初旬～8月初旬を予定している。春学期の科目は大学で一括登録するが、秋学期の科目は3月下旬から4月上旬の登録期間中に DUET で登録を行うこと。ただし、登録期間中は渡航期間中となるため、登録期間中に対面の対応を原則とするものについては、個別対応することができない。

4. 「ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム」科目一覧

次表のとおりである。なお、2021 年度は最少催行人員に達しなかったため実施しないが、参考までに2021 年度の募集時の情報を掲載する。

(参考) 2021 年度「ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム」

学期	科目	クラス	担当者	単位数	研修先		定員	最少 催行 人数	事前授業	
									曜講	校地
○	Semesterプログラム・ドイツ語 I・II	-	-	各4単位	テュービンゲン大学	ドイツ	12名	10名	-	-
○	Intercultural Studies	-	-	2単位					-	-
○	EU キャンパス特別講義	001	-	2単位					-	-
○	EU キャンパス特別講義	002	-	2単位					-	-

5. 2022 年度「ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム」 募集・選考日程

(1)募集要項、プログラム紹介資料公開（予定）

日程：2021 年 10 月初旬～10 月中旬

場所：国際課 HP

(2)個別相談期間（予定）

日程：2021 年 10 月中旬～11 月初旬

場所：両校地

(3)出願期間（予定）

日程：2021 年 10 月中旬～11 月初旬

出願方法：Go Global ポートフォリオ

(4)選考試験（予定）

日程：2021 年 11 月中旬

場所：今出川校地

(5)選考結果発表（予定）

日程：2021 年 11 月中旬～下旬

発表方法：Go Global ポートフォリオ

*詳細は、各キャンパス教務センター（外国語教育科目窓口）に問い合わせること。

2年次生以上

基礎イタリア語 I・II

＜京田辺・今出川校地：各1単位＞

1. 登録に関する注意点

- (1)「基礎イタリア語 I」（春学期）・「基礎イタリア語 II」（秋学期）セットで登録される。
- (2)希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システム DUET にて行う。
- (3)クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。
- (4)「基礎イタリア語 II」のみの登録を希望する場合は、秋学期登録要領を確認すること。

2. 登録日程

「外国語教育科目 両校地 WEB 先行登録スケジュール」を確認すること。

※科目によって受付期間が異なるので、注意すること。また、時間割が重複しないよう十分確認して申請すること。

3. クラス・担当者（各クラス定員：45名）

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

～秋学期開講前の「基礎イタリア語 II」登録手続について～

春学期「基礎イタリア語 I」の可否によって、秋学期開講前の登録手続が異なる。

(1)合格の場合

登録手続は不要。春に先行登録した秋学期「基礎イタリア語 II」を受講できる。

(2)不合格の場合

秋学期には「基礎イタリア語 I」の再履修クラスは開講しない。春に登録した秋学期「基礎イタリア語 II」は、大学が一括して登録を削除する。

3年次生以上

基礎イタリア語Ⅲ・Ⅳ

<今出川校地：各1単位>

1. 登録資格

「基礎イタリア語Ⅱ」の単位を修得済みであること。

2. 登録に関する注意点

- (1) 「基礎イタリア語Ⅲ」(春学期)・「基礎イタリア語Ⅳ」(秋学期)セットで登録される。
- (2) 1～3次募集は、希望クラス受付・決定者発表とも、学修支援システムDUETにて行う。
- (3) クラス決定後の変更は一切認めない。なお、春に登録した秋学期開講科目は、秋学期講義開始前に変更を認める。手続きは秋学期登録要領を確認すること。
- (4) 「基礎イタリア語Ⅳ」のみの登録を希望する場合は、春学期成績交付時に配付される秋学期登録要領を確認すること。

3. 登録日程

「外国語教育科目 両校地 WEB 先行登録スケジュール」を確認すること。

※科目によって受付期間が異なるので、注意すること。また、時間割が重複しないよう十分確認して申請すること。

4. クラス・担当者 (各クラス定員：45名)

各募集期間中に学修支援システムDUETで確認すること。各クラスの授業内容は、シラバスを参照すること。

～秋学期開講前の「基礎イタリア語Ⅳ」登録手續について～

春学期「基礎イタリア語Ⅲ」の可否によって、秋学期開講前の登録手續が異なる。

(1)合格の場合

登録手續は不要。春に先行登録した秋学期「基礎イタリア語Ⅳ」を受講できる。

(2)不合格の場合

秋学期には「基礎イタリア語Ⅲ」の再履修クラスは開講しない。春に登録した秋学期「基礎イタリア語Ⅳ」は、大学が一括して登録を削除する。